



現場から（最近のニュースから）

知っていますか



雨の季節です。雨が降ると地面の様子が変わります。運動場など土は柔らかくなって歩くと泥だらけになり、アスファルトやコンクリートの部分は、黒くなります。いつもそうなので、当然だろうと思うのですが、では、なぜアスファルトが黒く見えるのか、ご存じでしょうか。朝日小学生新聞に出ていた記事をご紹介します。

水は無色透明なのに、水にぬれたところが黒っぽくなるのはなぜでしょうという質問で書いてあった答えです。

かわいたアスファルトの表面をよく見ると、細かいでこぼこがあります。細かいでこぼこのあるものは一般的に白っぽく見えます。たとえば食塩や角砂糖は細かい粒の集まりで、一つひとつの粒は無色透明です。しかし粒がたくさん集まって白く見えます。なぜ白く見えるのか。物体の表面に細かいでこぼこがあるとき、そこに光があたると、光は乱反射（いろいろな方向に進むこと）します。すると目には、表面の広い範囲から同じように光が届き、物体全体が白く見えるのです。かわいた地面やアスファルトも同じです。さて、アスファルトがぬれると、でこぼこのすき間に水が入りこみ、水におおわれて表面はなめらかな状態になります。それによって乱反射の光が出なくなり、黒っぽく見えるのです。黒というのは光がない状態ですから。

なめらかな表面のほうが光をよく反射するからもっと白く見えると思うかもしれませんが、そうはならないのです。鏡や水面のようななめらかな面は光をよく反射しますが、特定の方向にだけ光が出ていきます。乱反射ではありません。反射した光が出ていく先に目がある場合は表面は明るく見えます。水面に映る太陽はまぶしいですね。しかし光の届かない角度から水面を見ると、水面自体はむしろ暗いのです。（灘中学・高校 理科教諭 浜口隆之）（6月26日朝日小学生新聞〈雨にぬれたアスファルトが黒く見えるのは？〉より）

私たちが、普通に「黒くなって当然」と思うのに、実はこのような理由があったのです。生きていくときに、なぜかと疑問に思うことなく、「当然だ」と思っている、ほんとうの理由を知らずにいることは多いでしょう。目に見えるものの場合、研究すれば、理由はわかります。アスファルトのことも、知っている方もおられたでしょう。しかし、目に見えないものは、研究できないので、理由も知ることができません。大きな事件や事故が起こると、その理由を調べて、原因をなくすことによって、二度と事件や事故が起こらないようにしようとします。しかし、事件は事故は、消えることがないのです。それは、そこに目に見えない理由があるからです。当然にそうなるしかない、本当の理由があるのです。その本当の理由を知るなら、そこに対する必要はなにかが分かります。その本当の理由は、人間がどんな存在なのかを正しく知ることで分かるようになります。アスファルトが黒くなる理由すら、教えてもらわないと分からない頭脳であることを認めて、人間について、新しく聞くことを始めませんか。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になるし、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぼっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちに苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってください。感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください